

3年

15

解説

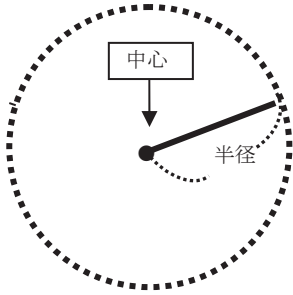
## 円と球

\_\_\_年 \_\_\_組

名前

円や球についてかくにんしましょう。

## 1 円



上の図で、中心から円のまわりにひいた直線はすべて半径です。半径はいくつもひけることがわかりますね。

左のように、1つの点から同じ長さになるようにかいたまるい形を円といいます。

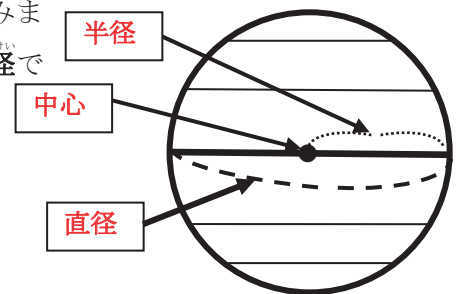
このまん中の点が円の中心です。中心から円のまわりまでひいた直線を半径はんけいといいます。そもそも中心から同じ長さになる点の集まりが円です。だから、1つの円では、半径の長さは、みんな等しくなっています。

<「径」って何でしょう？>

くん読みでは、「みち」とも読みます。半径とは、円の「はしからはしまでのみち」の半分ということになりますね。

さて、右の図のように円のまわりからまわりをむすぶ直線をひいてみましょう。円の中心を通る直線が一番長くなっています。この直線が直径ちようけいです。半径の長さの2倍が直径の長さになっています。

直径の長さの半分が半径の長さであるともいえますね。



## 2 球

どこから見ても円に見える形を球きうといいます。球の切り口も円の形になっています。

球を半分に切った時、その切り口の様子は右上の円の図と同じようになっています。

ただし、円の「中心」「半径」「直径」と区別するために、「球の」という言葉を付け加えます。

